

SW の魅力を再発見！ みんなで築こう ONE TEAM

釜石シーウェイブスを応援してくださっている皆様

釜石シーウェイブス RFC でインターンシップを行っている山田と相沢と申します。
インターンシップの一環として、釜石シーウェイブスにかかわりの深い人々にインタビューし、記事を『SW の魅力を再発見！ みんなで築こう ONE TEAM』というタイトルで不定期更新していきます！記事を通して、釜石と釜石シーウェイブスの魅力を再発見していただけたらと思います。

第一回は、釜石シーウェイブスで選手として活躍し、現在はスタッフとしてチームを支えている、マヘトゥビさんです！

マヘトゥビさん（2013 年から 2017 年まで釜石シーウェイブスに選手として活躍）

□基本情報

出身 トンガ王国

現在の仕事 外国人選手の通訳、普及担当

好きな食べ物 ホルモン



Q、釜石に来るきっかけは？

前所属の福岡サニックスブルース（現宗像サニックスブルース）を退団した後に所属チームを探していた時、かつてのチームメイトが釜石に所属していたので、その縁があって釜石に来ることになりました。釜石のことはラグビーの歴史がすごい思いは強くありました。

釜石はご飯美味しいですし、海も近いし、子育てするにはとてもいい環境だと思います。自分には子供が二人いますが、自然もあるし、治安もいいから外を走り回っています。都会では難しいんじゃないかな。（笑）くある町として日本に来た時から知っていて、チャンスがあれば関わってみたいと思っていました。

Q、釜石への思い

最初に来たときは、山がたっくさんだ！と率直に思いました（笑）。震災のことはテレビでしか知らなかったです。自分が初めて釜石に来たのは、震災から二年経ってからでしたが、最初に被災地を見た時はとても驚きました。復興に関しては、何かやりたいという思いはあったけれど、何もできない状態が続いていました。でも、釜石の人々の笑顔を取り戻す

ために、ラグビーを通じて盛り上げ、復興に貢献していきたいと

Q.釜石のサポーターの方々への思い

街を歩いたり、ご飯を食べている際に釜石の人から声をかけてもらったりするなど、サポーターとの距離はとても近いと思います。遠征で釜石以外での試合するときにもシーウェイブスコールをしてもらい、どこへ行ってもついてきてくれることはとてもうれしいですね。釜石シーウェイブスがもっともっと強くなって、サポーターの方々と距離が近くなるのではないかと考えています。ただ、松倉グラウンドで試合していた時は歩いて見に来てくれる人もいたんですけど、釜石鶴住居復興スタジアムで試合するようになって、松倉から遠くなってしまったけど、少し寂しいですね。



Q.釜石シーウェイブスの魅力は何ですか？

高校・大学・社会人・外国人とたくさんの選手が集まってきます。中には日本語を全く話せないような外国人選手もいますが、様々な経験をしてきた人たちがいろんな考えをシェアして一つのチームとしてまとまっているのは特別なことです。このチームにはこれまでの歴史や復興に向けた特別な思いがたくさん詰まっており、大きな魅力だと思いますね。

Q. ラグビーワールドカップについて

ラグビーの歴史が長いこの町でラグビーワールドカップが開催されると決まった時はすごくうれしかったです。釜石はラグビーの町と言われているから、みんなうれしかったんじゃないかな。ラグビーを通じて復興に貢献したいと思ってきたから、釜石の将来のことを考えても釜石開催はすごく良いことだったと思います。私はファンゾーンにいましたが、ラグビー体験も盛り上がったし、ラグビーワールドカップで盛り上がった勢いをこのまま継続していきたいですね。

Q、どんなチームになってほしいか

結果の向上はもちろん、周りから応援してもらえ、愛されるチームになっていきたいですね。そしてたくさんの方に釜石鶴住居復興スタジアムに見に来てくれるようになってほしい。

サポーターの皆様へ

毎試合一生懸命応援してくれているのは本当に選手の力になっています。つらい時も応援してくれて、勝ったときはみんなで盛り上がるのは本当にうれしい。

今年もたくさん応援してください！よろしくお願いします。